

# むかわ町における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業2年目）

## むかわ町地域公共交通総合連携計画の目標

- 基本方針**
- ・民意を反映し、持続できる効率的な交通網と経営組織を構築する。
  - ・高齢者層や児童生徒等の交通弱者の交通を確保する。
  - ・町内外の交流を促し地域活性化に寄与する。
- 計画の目標**
- ・地域と連携した持続できる効率的なバス事業
  - ・地域内交通及び2地域間交通の確保
  - ・町外との交通確保

## むかわ町地域公共交通活性化協議会開催状況

- 7月28日 第1回協議会を開催
- ・平成21年度事業経過報告・収支決算報告
  - ・平成22年度地域公共交通活性化・再生総合補助金交付申請及び交付決定について
  - ・平成22年度協議会事業計画・予算について
- 8月26日 第2回協議会を開催
- ・バス事業町報連載について
  - ・鶴川地区バス路線の新設及び運行方法の変更について
  - ・町営バス路線及び道南バス(株)路線の運行経路等の変更

## 22年度総合事業計画の概要

### 1)むかわ町予約運行バス(デマンドバス)の実証運行(穂別地区)

- 運行期間：平成22年4月～平成22年9月
- 運行ルート：穂別稲里線・キス隆農線・穂別栄線・穂別富内線  
新千歳空港直行便(本事業対象外)
- 運行本数：平日4系統26便、土曜祝祭日4系統25便、日曜日3系統18便、学校長期休校日2系統43便(千歳直行便毎日4便)
- 運賃：町内200円均一(中学生以下無料・高校生100円・障害者100円・65歳以上100円 一般200円)
- 運行受託者：(有)穂別ハイヤー



予約運行バス運行状況

### 2)むかわ町コミュニティバスの実証運行(鶴川地区)

- 運行期間：平成22年10月～平成23年3月
- 運行ルート：鶴川川西線・鶴川川東線
- 運行本数：平日2系統8便、土曜・祝祭日・学校長期休校日2系統6便、日曜日1系統便
- 運賃：町内200円均一(中学生以下無料・高校生100円・障害者100円・65歳以上100円、一般200円)
- 運行受託者：(有)むかわハイヤー



コミュニティバス運行状況

### 3) バス停留所の整備

穂別地区路線を重点的にバス停留所標識を見直し設置する予定。  
現在のところ6路線が集中する市街地の既存停留所と新設停留所の設置方法等を検討協議中。

### 5) バス事業情報の提供

#### バス時刻表・路線図作成



情報端末(テレビ電話)を活用したバス情報の提供



### 4) 利用促進調査

#### コミュニティバス実証運行に係るアンケート調査



#### むかわ町公報にバス事業について連載



ホームページを活用したバス情報の提供



## 22年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

バス事業に対する理解と協力を得るため、広報誌・情報端末等による周知を図っている。

出前講座を開催し、地域住民や高齢者の集まりでバス事業への要望・意見の収集を図り、併せて、デマンドバス、コミュニティバス運行の仕組みや利用方法等の説明会を開催し理解と協力を得ている。

予約型のコミュニティバス実証運行の開始当初に、待合施設や停留所での利用方法等の説明を行う。

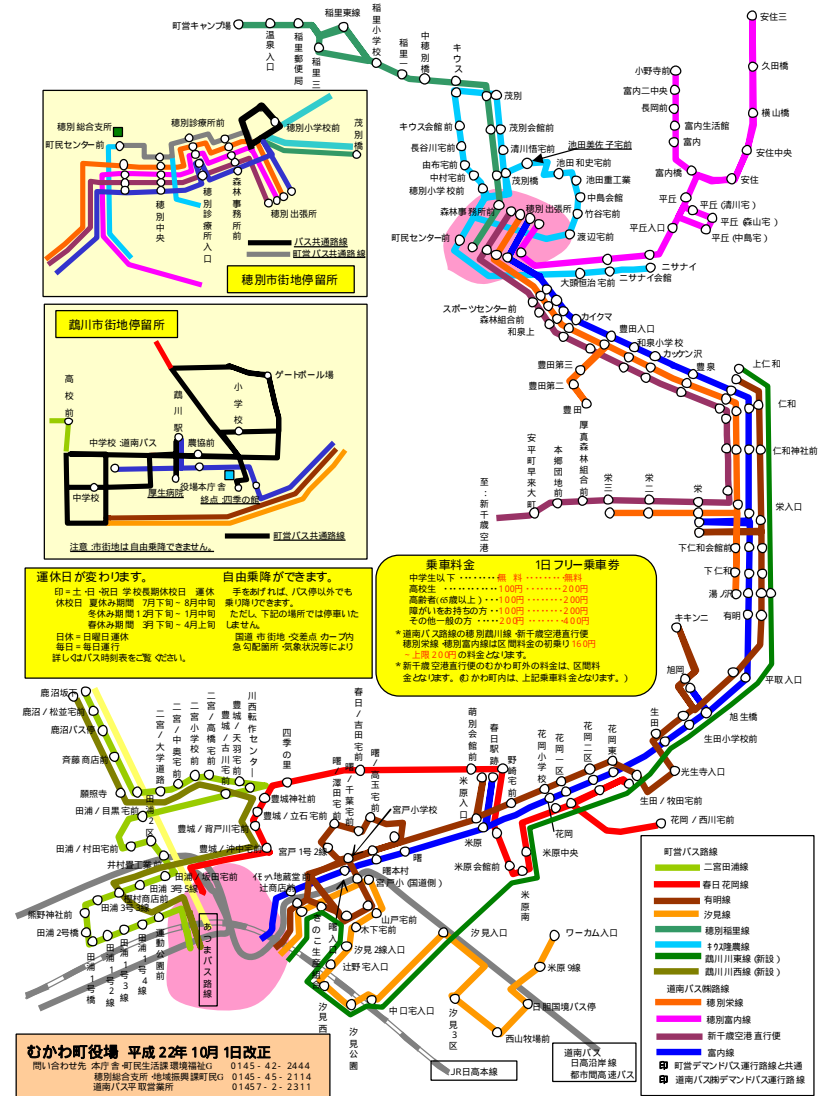
実証運行期間中に利用促進調査を行い、利用者の要望を聞き取り、詳細な利用実態を把握しながら、路線・ダイヤの見直しを行い利便性を着実に向上させる取組みとしている。

町主催等の各種イベントや会合等の時間設定をする場合、バスダイヤを意識した設定となるよう協力を依頼した。

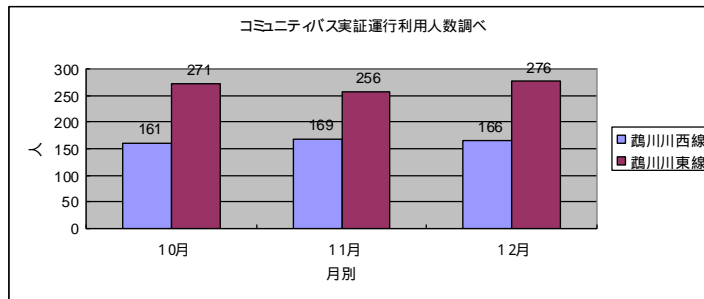
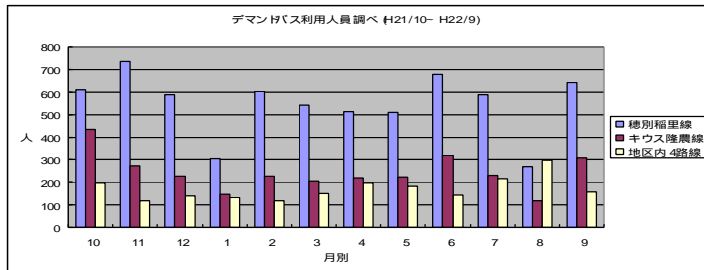
バス事業者路線と町営バス路線が、デマンドバス及びコミュニティバス実証運行を効率的に運行できるための路線及びダイヤの一体的な調整を行っている。

### 2) 運行ルート

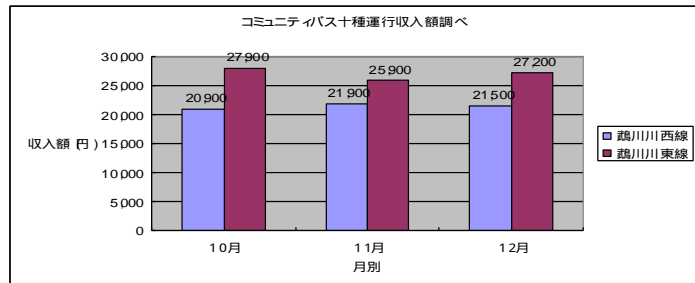
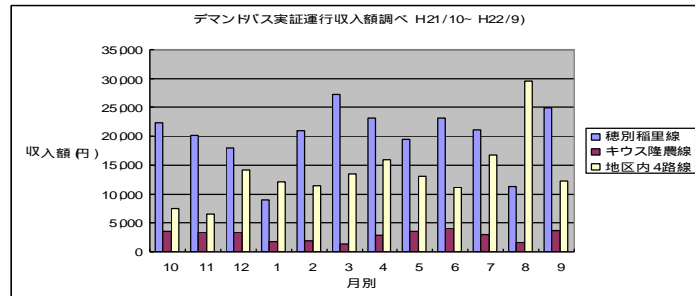
#### むかわ町バス路線図



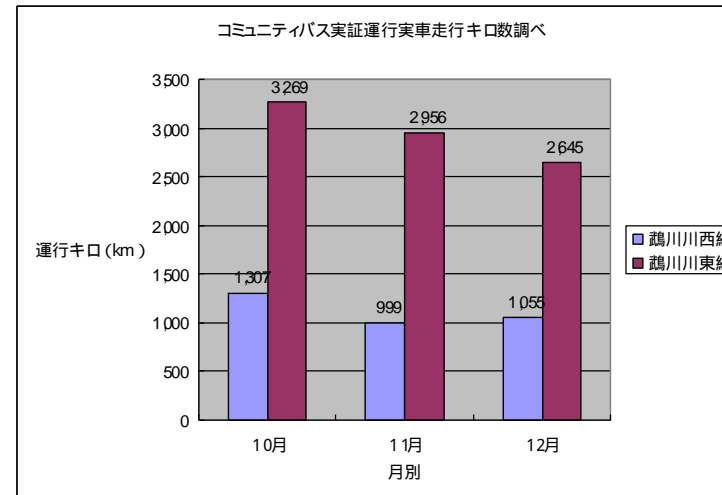
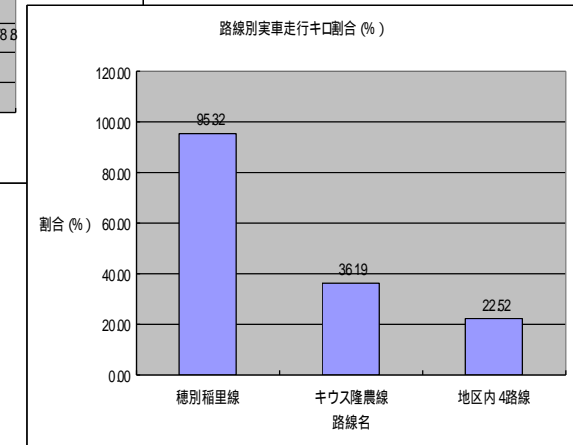
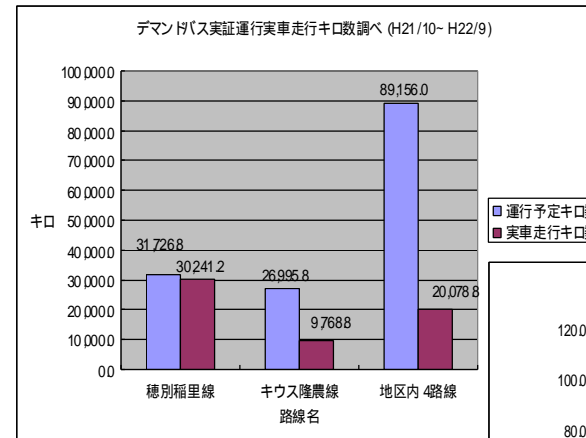
### 3) 利用実績



### 4) 収入実績



### 5) 実車走行キロ実績



## 5)事業実施効果

デマンドバス実証運行では、実車走行キロ数が減り、効率化が図られている。その分を路線・ダイヤの改善に向け、利用者のバス事業への理解と協力が得られてきており、平成22年10月より本格運行を始めている。

予約型のコミュニティバス実証運行も実車走行キロ数が減り、効率化が図られているが利用促進調査・実証運行の結果を基に、利便性を高める設定となるよう更なる検証を深めることとしている。

## 6)今後の課題

- 町営バス路線及び民間バス事業者路線のより一体的な見直しとデマンドバス・コミュニティバス運行路線の拡大により、利便性・効率化の向上を図る必要がある。
- バス運行基盤の確立のため、待合施設、バス停標識等の整備を進める必要がある。
- バス事業の運営管理方法の効率化を図る必要がある。

### 自己評価のポイント

- ・デマンドバス実証運行(穂別地区)は当日予約制やダイヤの見直しを行い、10月より本格運行している。
- ・コミュニティバス実証運行(鶴川地区)は10月から実証運行を開始し、利用者は横ばいだが、走行距離が減り効率化へ向けて着実に前進している。今後は、利用者の増加と地域住民の理解を得るため、積極的に広報活動を行う必要がある。

### 二次評価のポイント

- ・自己評価のとおり、引き続き課題である利用者利便の向上策について検証を重ね、自立性・持続性をもった事業となるよう検討されたい。